

家読（うちどく）始めてみませんか？

～「家読」のすすめ～

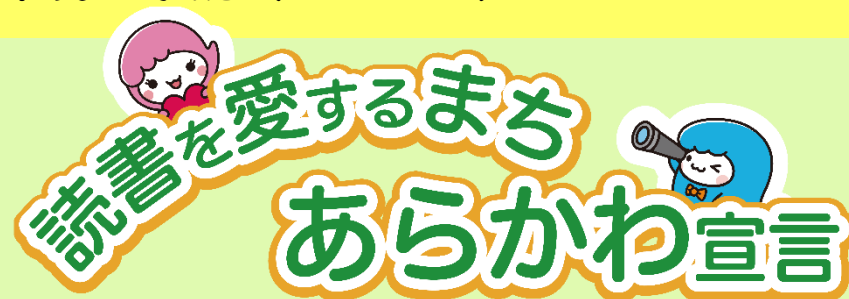
保護者の
皆様へ

荒川区では、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、子どもたちの豊かな心を育むために、本と出会い、読書の大切さや楽しさを実感できるよう読書活動を推進しています。

「家読（うちどく）」とは、「家族ふれあい読書」の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取組です。今年度は家読（うちどく）に力を入れます。

「家読」に取り組むとこんな効果が！

- ★家庭内でのコミュニケーションが増え、家族のきずなを深めることができます。
- ★親子で夢について話し合うことができます。
- ★親子お互いに考えていることがわかります。
- ★本を読むきっかけづくりができます。
- ★今まで気付かなかった子どもの新たな発見があります。



ノンフィクション作家で家読応援団の柳田邦男氏は、「子どもの人間形成、人格形成に家読は最適な実践活動」と語られています。



「家読(うちどく)」ってどうすればよいの？

「家読」にきまりはありません。「家読」は家族や身近な人と本を楽しむことです。ご家庭にあった家読のスタイルをつくってみましょう。

このような取組もあります

- ★家族で話し合って家読の日を決める
- ★図書館でいっしょに本を借りる
- ★家族みんなで同じ本を読む
- ★読んだ本の感想をみんなで話し合う
- ★自分のおすすめの本を教えあう

わたしは、さし絵のデザインがよかったな。

主人公のセリフに感動したよ。



家族に本を読んであげるのもおすすめです！

区立図書館では、年齢に応じたオススメ本のリストの配布のほか、家読に適した本の紹介やアドバイスを行っています。お気軽にお声掛けください。

オススメ本リスト

